



3月(弥生)号

2023年 March No. 110

ながかったふゆもおわり、ひごとにあたたかさが感じられ、梅の花がみごろを迎える良い季節となりました。

3月は春にちなんだ行事がいろいろあり、春の兆しを感じることができます。



●3月3日・・・桃の節句(雛祭り)の日として親しまれています。発祥は中国で、中国では季節の変わり目を「節」と呼び、奇数の月と奇数の日を足して偶数になる日は悪いことが起こるとされていました。そのため、3月3日だけでなく、5月5日、7月7日などの年に5回の節句には災いや邪気を払う祭りが行われていたといわれています。

桃の節句は、日本に伝わったのは平安時代だと言われており、江戸時代には女の子のお祝いの行事として定着しました。

今では女の子の健やかな成長を祈る行事となり、ひな人形に桜や橘、桃の花などの木々を飾り、雛あられや菱餅などを供え、白酒やちらし寿司などを食べる節句祭りとなっています。

ちなみに、5月5日は端午の節句、7月7日は七夕の節句、9月9日は長陽の節句(中国、台湾などにおける伝統的な祝日)です。

●3月6日・・・啓蟄といわれ、二十四節気(立春、春分、夏至など季節を表す言葉として用いられており、1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つにわけたもの)の第3番目。

「啓」は開く、「蟄」は虫などが土中に隠れ閉じこもる」という意味があり、「啓蟄」で「冬ごもりの虫が這い出る」という意味を表し、春の到来を知らせ、春の季語でもあります。

●3月18日・・・彼岸の入りといわれ、春分の日と前後3日を含めた7日間をお彼岸と呼びます。ご先祖様の供養やお墓参りをする日です。また、暑さ寒さも彼岸までという言葉も有名な日です。

●3月21日・・・春分の日で、二十四節気のうち、昼夜の長さが同じになる日で、この日を境に陽が長くなり、本格的な春の到来となります。

また、幼稚園、小学校、中学校、高校など3月のイベントといえば「卒業(園)式」です。

最終学年の児童生徒たちがついに巣立ちを迎える大切な日です。

その大切な節目の時に贈られる言葉として、有名な言葉が



- ◎どんな人間も自分が思っている以上のことができる。(ヘンリー・フォード/フォード創業者)
- ◎後ろを振り向く必要はない。あなたの前にはいくらでも道がある。(魯迅/思想家)
- ◎壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから壁があるときはチャンスだと思っている。(イチロー/野球選手)
- ◎夢を見るから人生は輝く。(モーツァルト/作曲家)
- ◎人を信じよ、しかし、その百倍も自らを信じよ。(手塚治虫/漫画家)
- ◎肝心なことは目に見えないんだよ。(サン・テグジュペリ/作家)



ご卒業される皆さん、おめでとございます。いろいろな励ましの言葉を胸にこれからも頑張ってください。

じんけんふくし
☆人権福祉センター☆



りんぽかんきほんじぎょう
隣保館基本事業

- 移動図書 3月13日(月) 15:30~15:45 玄関前
- 識字学級 毎週木曜日 10:00~ 1階老人ルーム
- 職業相談 3月 8日(水) 13:30~14:30 1階応接室
- 手芸教室 毎週水曜日 13:30~ 1階老人人ルーム



じぎょう
デイサービス事業

- 介護予防教室 3月 3日(金) 10:00~ 1階老人ルーム
- 健康教室 3月 6日(月) 10:00~ 1階老人ルーム
- フラワー教室 3月 8日(水) 10:00~ 1階老人ルーム
- いきいき運動教室 3月15日(水) 10:00~ 1階老人ルーム



ちいきのみなさんのニーズを把握するため、てがみ、でんわ、ファックス、メール、来館の際に、ご意見をお気軽にお寄せください。

※予定は変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

じんけんふくし
人権福祉センター

〒779-0222

なるとおおあさちょうみつまたあざまえの ばんち
鳴門市大麻町三俣字前野18番地

TEL(088)689-2090 FAX(088)689-2091

MAIL(jinkenfukushi@city.naruto.i-tokushima.jp)



じんけんふくし
★人権福祉センターだよりはQRコードで読み取ることができます。

